

平30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾の麻織り 10周年記念事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 長野県木曾郡木曾町福島 2326 番地 6
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,641,378 円 (うち支援金: 1,231,000 円)

事業内容

・開田高原麻織物研究会が発足して10年目を迎えた。旧開田村では、嘗て麻織を生業として生活してきた。県下でも唯一活動している団体であり、研究会員の活動内容を地域住民に知っていただくため、冊子作製、古写真デジタル化、記念講演会の開催、研究会活動番組制作を行った。冊子の作成については昭和48年に発行された「木曾の麻衣」にその後の活動を付け足し増補版とした。また、「麻布織の歩み」として10周年記録誌 活動文集を各100冊作成。昭和53年まで麻が栽培されていた開田村では貴重な写真が数多く残っているこうした古写真をデジタル化し、後世に伝える資料とする。記念講演を11月4日に開催。



【講演会活動状況】

【目標・ねらい】

- ① 地域文化の継承
- ② 会員の活動意欲向上と増員
- ③ 地域住民との交流

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

木曾の麻織り 10周年記念事業を行って

- ①この事業を行って、周囲から関心され活動の問い合わせや講演依頼が来るようになった。また、次年度小学校活動の予約も入った。
- ②記念事業を行うことで、事業も活発に遂行した。また、講演依頼が掛かるようになり、会員の活動意欲を向上させると共に若干であるが、会員数も増えている。
- ③この事業を行うことにより、広報活動や、各種イベントへの参加出展、また、講演会を開催したことにより、住民との交流の幅が広がった。

※自己評価【B】

【理由】麻布織活動が発足して10の節目を迎える記念的な活動を行うための事業であったが、この活動を行ったことにより地域をはじめ県内外からの問い合わせや、講演会依頼、動画出演の依頼もあり活動の幅が広がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業を行ったことにより、日本各地の「麻」を扱う団体との交流が親密になった。そのことにより機を織る活動ばかりでなく、会員一人ひとりが麻や機のルーツについても知識を向上させている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある